

将来都市構造の方向性（たたき台）

1. 本市が目指す都市構造

- 第3次総合計画では、都市機能として拠点と軸を位置付けている。

都市機能イメージ図



都市拠点

商業機能などの都市機能が集積
国道312号と国道482号の
交差点付近～国道312号沿道のエリア

地域拠点

日常生活に必要な機能が集積
各町の市民局周辺の市街地エリア

広域連携軸

市外と市内各地域を結ぶ
山陰近畿自動車道、鉄道、公共交通

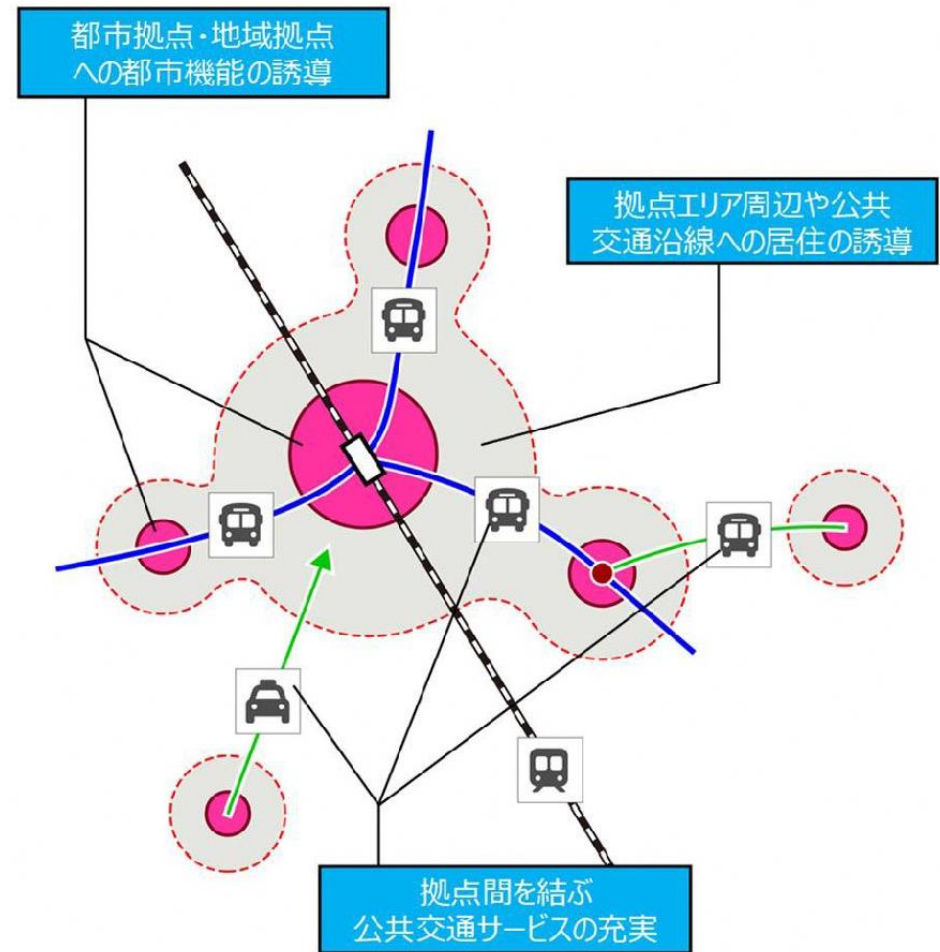
地域連携軸

市内の各拠点、隣接市町を結ぶ
主要国府道、鉄道、公共交通



2. 立地適正化計画が目指す都市構造

- 立地適正化計画では、生活サービス機能や居住の誘導と公共交通ネットワークの形成を連携して取り組む考え方が示されている。
- これは、人口が減少する中でも、医療・福祉・子育て支援・商業等の都市機能を都市の中心拠点や生活拠点に誘導しつつ、その周辺や公共交通の沿線に居住を誘導し、生活サービスへのアクセスを確保しながら一定のエリアにおいて人口密度を維持することにより、生活サービスやコミュニティの持続性が高まるとの考えに基づいている。



資料：立地適正化計画の手引き（令和7年4月改訂版）

3. 都市拠点の形成

総合計画に位置付ける都市拠点の形成に向け、「京丹後市都市拠点構想」や「京丹後市都市拠点公共施設整備基本計画」を策定している。

都市拠点では、居住、商業、芸術文化、娯楽、交流など、多くの人が集まる都市機能の集積を図ることを目指している。

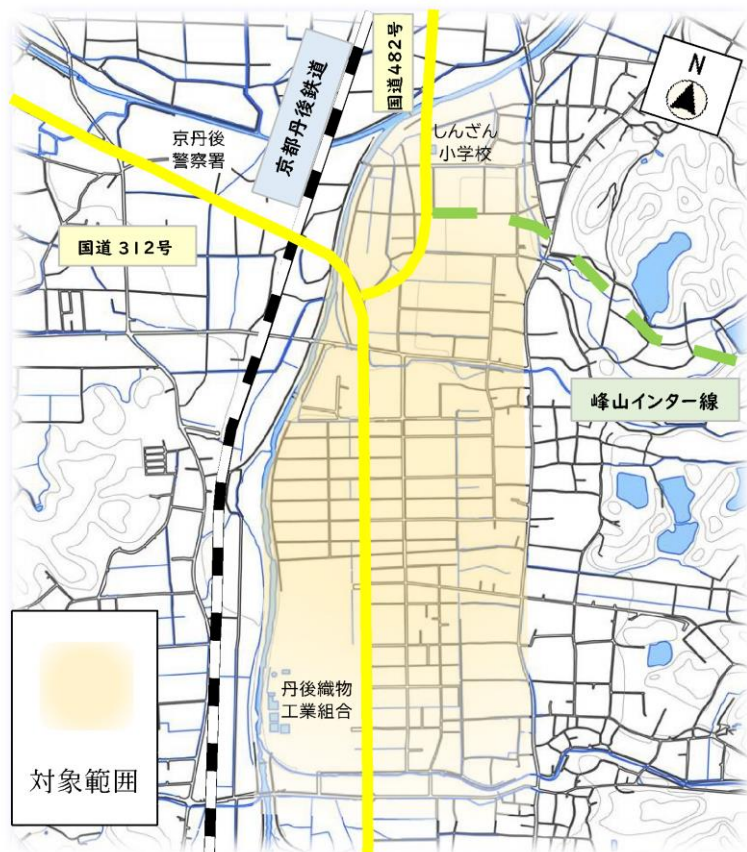


図 都市拠点の範囲

出典：京丹後市都市拠点構想

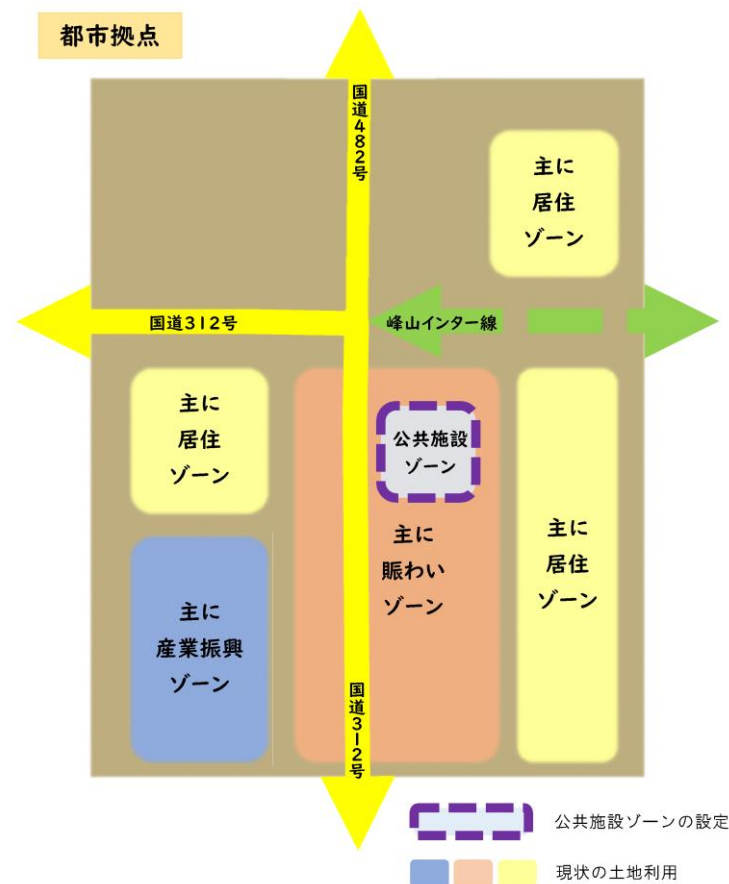


図 都市拠点のゾーニング

3. 都市拠点の形成

都市拠点公共施設として、『つくろう! 未来のまちを』をコンセプトに、子育て支援機能や図書館機能、文化・芸術活動支援機能等を導入していく。

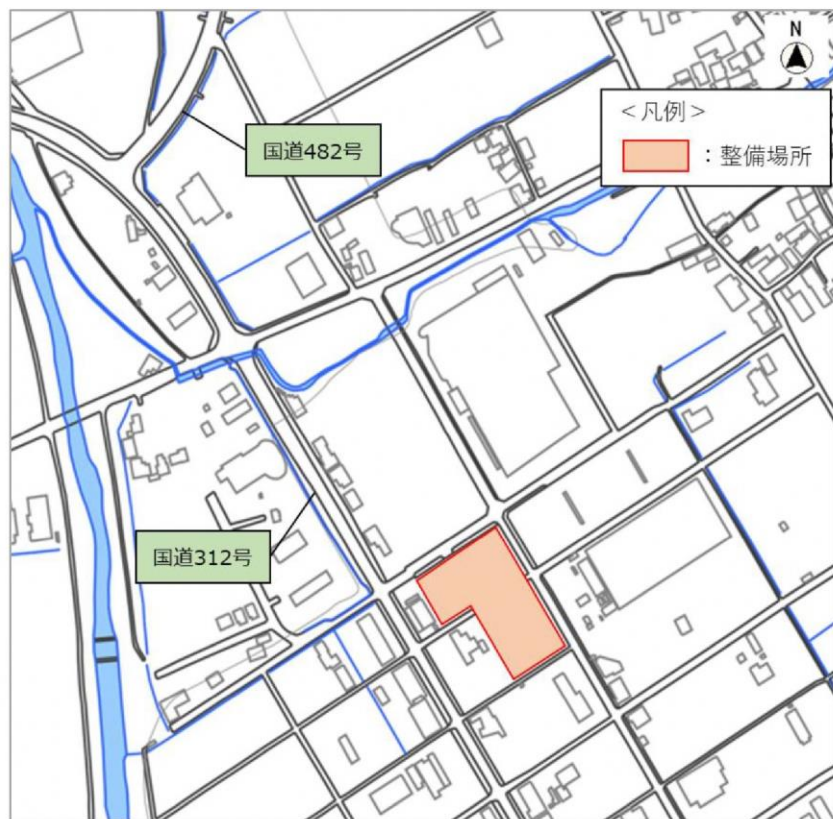


図 都市拠点公共施設の整備場所

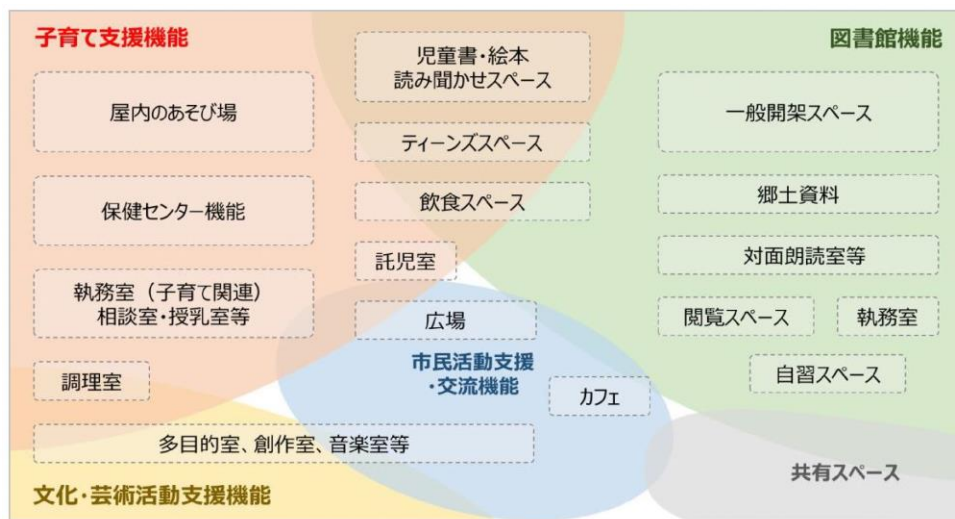


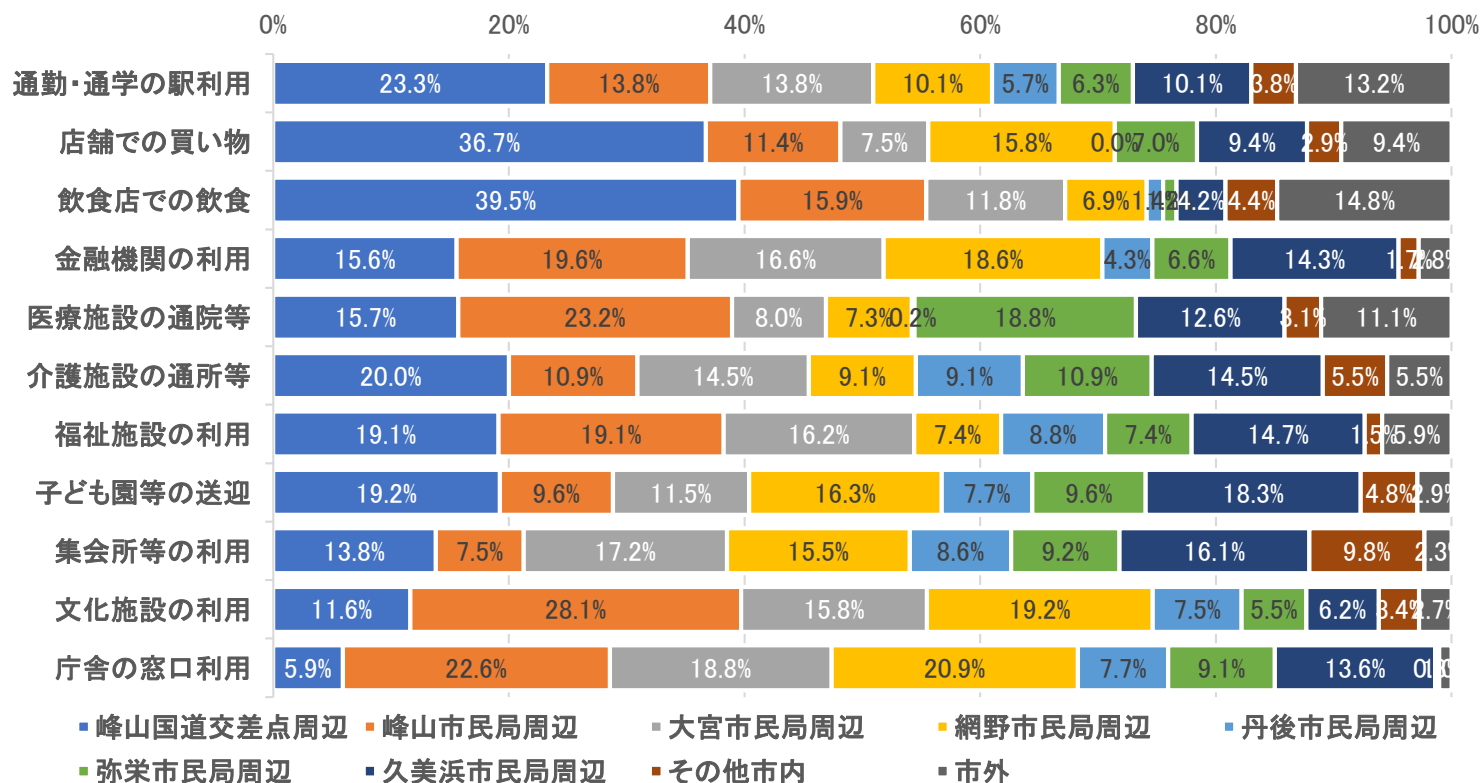
図 導入機能と整備イメージ

出典：京丹後市都市拠点公共施設整備基本計画

4. 市民意向

- 日常の行動や利用施設に関して、医療や福祉、公共サービスなどの利用は、比較的各拠点に分散している。
- 買い物や飲食は、峰山国道交差点周辺を利用される割合が高い。

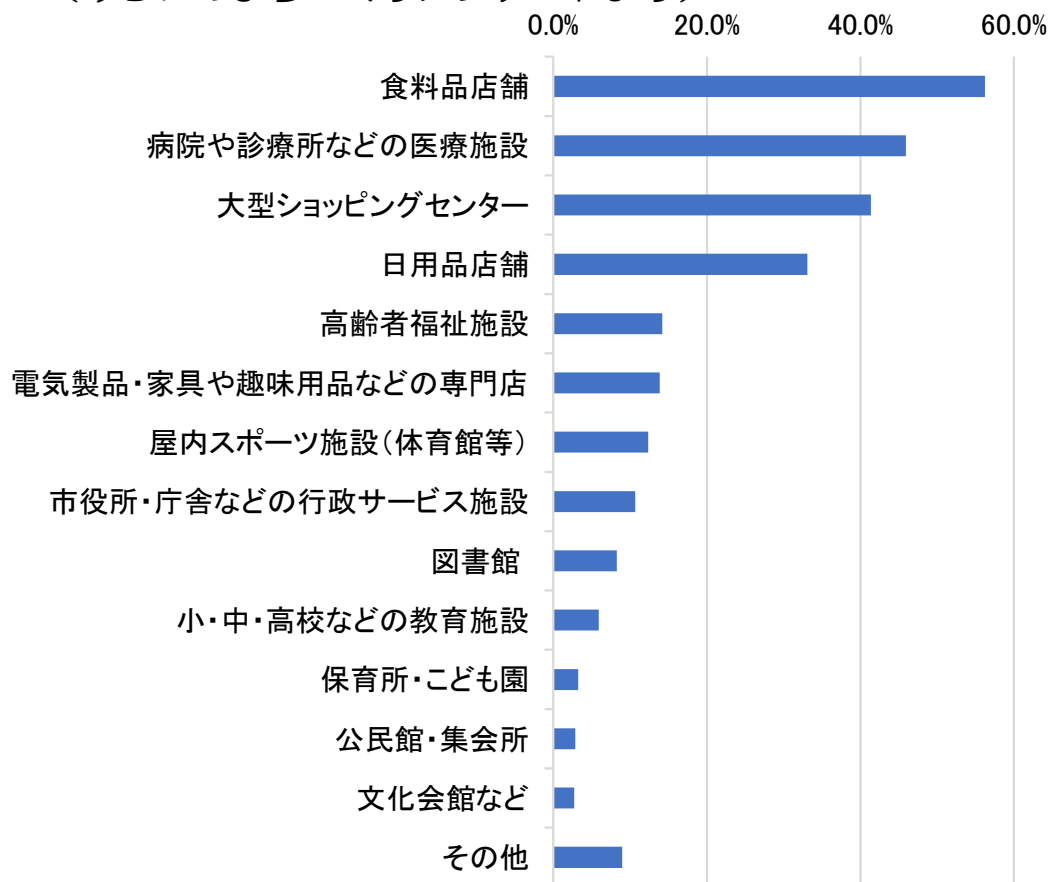
図 日常の行動の行き先（みらいのまちづくりアンケートより）



4. 市民意向

- 今後拠点周辺に必要な施設として、食料品店舗、医療施設、大型ショッピングセンターの順に高い。

図 拠点に必要な施設
(みらいのまちづくりアンケートより)



拠点周辺：峰山国道交差点周辺、峰山市民局周辺、大宮市民局周辺、網野市民局周辺、丹後市民局周辺、弥栄市民局周辺、久美浜市民局周辺

5. 拠点形成の方針（たたき台）

■都市計画区域

位置づけ	現状	関連PJ	拠点形成の方針（案）
都市拠点	・国道312号と482号の交差点付近に位置し、「京丹後市都市拠点構想」において都市拠点に位置づけ。 ・国道沿道に商業施設が立地しているほか、広域的商圈を有する大規模集客施設も立地。 ・既存の鉄道駅から距離がある。	・都市拠点公共施設整備基本計画 ・（仮）大宮峰山IC ・新駅設置	・既存の商業集積や自動車交通の利便性を活かし、「京丹後市都市拠点構想」に基づき、本市の新たな玄関口として魅力ある中核的な拠点形成を目指す。 ・公共施設ゾーン等の形成が必要。 ・新駅設置の検討推進や公共交通ネットワークによる各地域拠点との連携が必要。
地域拠点 （峰山）	・地域人口は網野町に次いで多く、減少率は市平均を下回る。 ・高齢化率は大宮町に次いで低い。 ・本庁舎周辺は人口密度の高い。 ・本庁舎や病院、商業施設が集積。 ・バス路線網の起終点。	・（仮）峰山弥栄IC	・地域住民のみならず、周辺地域を含めた都市機能を提供する拠点の形成を目指す。 ・公共施設や店舗、医療等の維持が必要。 ・都市計画道路の見直し整備等が必要。 ・公共交通ネットワークによる都市拠点等との連携が必要。（※地域拠点共通）
地域拠点 （大宮）	・地域人口は市内で3番目に多く、減少率、高齢化率は最も低い。 ・国道交差点沿道は人口密度が高い。 ・国道312号沿道に商業施設が立地。 ・市街地は鉄道駅とバスの徒歩圏。	・（仮）大宮峰山IC ・京丹後大宮IC	・京阪神地域と京都府北部を結ぶ本市南部の広域交通結節点とともに、都市拠点と連携し地域の生活サービスや産業機能等を高める拠点の形成を目指す。 ・公共施設や大規模店舗等の維持が必要。 ・丹後テキスタイル産業の集積拠点を活かすほか居住環境の向上が必要。
地域拠点 （網野）	・地域人口は市内で最も多い。他方で、減少率、高齢化率が高い。 ・庁舎周辺は比較的人口密度が高い。 ・久美浜町方面は鉄道、丹後町方面はバスで連携。市街地内をバスが運行。	・（仮称）網野交流センター・交流広場整備基本計画 ・（仮）網野IC	・沿岸部の交通拠点とともに、地域内のみならず隣接する町域の住民の日常の買い物といった生活機能を提供する拠点の形成を目指す。 ・公共施設や店舗等の維持が必要。 ・都市計画道路の見直し整備等が必要。

5. 拠点形成の方針（たたき台）

■都市計画区域外

位置づけ	現状	関連PJ	拠点形成の方針（案）
地域拠点 （丹後）	・地域人口は市内で最も少なく、減少率、高齢化率が最も高い。 ・間人漁港付近に市街地。 ・峰山や網野方面はバスやささえ合い交通で連携。 ・商業機能や医療機能等の集積が低い。	・宇川地域拠点施設整備計画	・丹後半島における観光等のネットワーク拠点として、また、地域内の生活機能を提供する拠点の形成を目指す。 ・撤退した商業施設の代替機能の検討や、既存の医療機能の維持等が必要。 ・地域資源を活用した観光交流や、移住・定住の促進が必要。
地域拠点 （弥栄）	・地域人口は少なく減少率、高齢化率は高い。 ・庁舎周辺に市街地。 ・峰山方面とはバスで連携。 ・商業機能の集積が低い。 ・医療機能が立地	・（仮）峰山弥栄IC	・田園や竹野川の自然環境を活かした交流拠点として、また、地域内の生活機能を提供する拠点の形成を目指す。 ・生活機能の維持・充実が必要。 ・地域資源を活用した移住・定住の促進が必要。
地域拠点 （久美浜）	・地域人口は大宮町に次いで多い。他方で、減少率、高齢化が高い。 ・庁舎周辺は比較的人口密度が高い。 ・久美浜駅周辺に市街地を形成。 ・商業施設の撤退等、都市機能の低下が進行。	・山陰近畿自動車道延伸	・豊岡都市圏及び中国・山陰地方にネットワーク結節拠点として、また、地域内の生活機能を提供する拠点の形成を目指す。 ・生活機能の維持・充実が必要。 ・地域資源を活用した観光交流や移住・定住の促進、高齢者にも配慮した生活サービス機能等の維持・向上が必要。